

常任委員会レポート

令和3年度一般・特別・企業会計の補正予算をはじめ、令和4年度一般・特別・企業会計の予算や条例の一部改正などの議案を、各常任委員会で審査しました。ここでは、その一部を紹介します。

総務委員会

令和3年度袋井市一般会計補正予算 (第12号)～交通防犯対策費～

Q 秋葉バスサービス株式会社が運営する生活バス路線の利用者は、コロナ禍で減少しているが、今後、どのように維持していくか。

A 秋葉バスの利用状況は、コロナ禍の影響もあり令和元年度と比較すると令和3年度は80%に減少している。秋葉バスが運営する路線は、市内南北を通る重要な基幹バス路線であるため、自主運行バスやデマンドタクシーなどの市の公共交通を秋葉バスにアクセスする手段を確保するなど、秋葉バスと連携していくことで利用者を増やしていきたい。

令和4年度袋井市一般会計予算 ～企画費～

Q 結婚新生活支援補助金は、内閣府の対象要件に加え、市がさらに細かな要件を設定する考えはあるか。

A 対象要件は夫婦の年間所得の合算が400万円未満、年齢が39歳以下であることなどを満たした場合である。内閣府では、各自治体がこの基本要件の範囲をさらに狭めることを可能としているが、本市では、内閣府が定める要件に沿って運用していくことを考えている。

令和4年度袋井市一般会計予算 ～防災費～

Q 中小河川の浸水想定区域図を配布するが、具体的なスケジュールは。

A 国と県が中小河川の浸水想定区域を公表するとしており、現時点では県が年度初めに6河川の浸水想定区域の公表を予定している。県の公表後に市が大判サイズの区域図を印刷し、自治会や福祉施設などに配布する予定である。なお、その後にはハザードマップも順次、作成していく予定である。

民生文教委員会

令和3年度袋井市一般会計補正予算 (第12号)～地域医療費～

Q 磐周PCR検査センターの検査件数を1,000件と見込んだが、実際は7件であった。制度設計に問題はなかったか。

A 新型コロナウイルス感染症の状況見通しが難しかったことなどが要因としてあげられる。しかし、現状においては、PCR検査を実施している市内の医療機関が20カ所以上に増加したことから、必要なPCR検査が受けられる体制になっている。

令和4年度袋井市一般会計予算 ～児童福祉費～

Q 市内小学校で新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖が発生している中で、放課後児童クラブでは密にならないようスペースの確保に苦慮している。来年度に向けて対応を考えているか。

A 新・放課後子ども総合プランでは学校施設を最大限活用するよう国の方針が示され、また、コロナ禍で広いスペースが求められている。現在、山名小学校の家庭科室、高南小学校の図工室、今井小学校の図書室を利用させてもらえるように学校側と協議している。

令和4年度袋井市国民健康保険特別 会計予算

Q マイナンバーカードを保険証として利用できるようにするため、マイナンバーカード取得者に申し込みをしていただく取組が必要と考えるが、どのように周知しているのか。

A 被保険者にさまざまな通知をする際に、マイナンバーカードを保険証として利用することを促進するチラシを同封している。また、マイナンバーカードを保険証として利用することで、マイナポイントが取得できることや高額療養費の限度額認定証にも利用できるなど、利便性が高まることもあわせて周知している。